

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公表番号】特表2012-510551(P2012-510551A)

【公表日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2011-539091(P2011-539091)

【国際特許分類】

C 0 9 K	5/04	(2006.01)
C 1 0 M	101/02	(2006.01)
C 1 0 M	107/50	(2006.01)
C 1 0 M	105/06	(2006.01)
C 1 0 M	105/38	(2006.01)
C 1 0 M	107/34	(2006.01)
C 1 0 M	107/24	(2006.01)
C 1 0 M	107/02	(2006.01)
F 2 5 B	1/00	(2006.01)
C 1 0 N	30/00	(2006.01)
C 1 0 N	40/00	(2006.01)
C 1 0 N	40/30	(2006.01)

【F I】

C 0 9 K	5/04	
C 1 0 M	101/02	
C 1 0 M	107/50	
C 1 0 M	105/06	
C 1 0 M	105/38	
C 1 0 M	107/34	
C 1 0 M	107/24	
C 1 0 M	107/02	
F 2 5 B	1/00	3 9 6 A
C 1 0 N	30:00	Z
C 1 0 N	40:00	Z
C 1 0 N	40:30	

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組成物の合計重量基準で、少なくとも約80重量%のR 1 2 4 3 z fと最大で20重量%のR 3 2を含んでなる、熱伝達組成物。

【請求項2】

組成物の合計重量基準で、約80～約99重量%のR 1 2 4 3 z fと約1～約20重量%のR 3 2を含んでなる、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

約 8.4 ~ 約 9.7 重量 % の R_{1243zf} と約 3 ~ 約 1.6 重量 % の R₃₂ を含んでなる、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

約 8.6 ~ 約 9.4 重量 % の R_{1243zf} と約 6 ~ 約 1.4 重量 % の R₃₂ を含んでなる、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

R_{1243zf} および R₃₂ から実質的になる、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

約 9.5 % R_{1243zf} および約 5 % R₃₂ を含有している、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

約 9.4 % R_{1243zf} および約 6 % R₃₂ を含有している、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 8】

約 9.0 % R_{1243zf} および約 1.0 % R₃₂ を含有している、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

約 8.8 % R_{1243zf} および約 1.2 % R₃₂ を含有している、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 10】

約 8.6 % R_{1243zf} および約 1.4 % R₃₂ を含有している、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 11】

組成物が 3500 未満、好ましくは 2000 未満の GWP を有している、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

組成物が 1000 未満、好ましくは 150 未満の GWP を有している、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

温度勾配が約 1.5 K 未満、好ましくは約 1.0 K 未満である、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

組成物が、置き換えようと意図される既存の冷媒の約 1.5 % 以内、好ましくは約 1.0 % 以内の体積冷却能力を有している、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

組成物が R_{1243zf} 単独よりも可燃性が低い、請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

組成物が、R_{1243zf} 単独と比べて、
(a) 高い可燃限界、
(b) 高い点火エネルギー、および / または
(c) 低い火炎速度、
を有している、請求項 15 に記載の組成物。

【請求項 17】

不燃性である、請求項 15 または 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

組成物が、置き換えようと意図される既存の冷媒の約 1.0 % 以内のサイクル効率を有している、請求項 1 ~ 17 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

組成物が、置き換えようと思図される既存の冷媒の約15K以内、好ましくは約10K以内の圧縮器吐出温度を有している、請求項1～18のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項20】

潤滑剤をさらに含んでなる、請求項1～19のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項21】

潤滑剤が、鉱油、シリコーン油、ポリアルキルベンゼン類(PABs)、ポリオールエステル類(POEs)、ポリアルキレングリコール類(PAGs)、ポリアルキレングリコールエステル類(PAGエステル類)、ポリビニルエーテル類(PVEs)、ポリ(アルファ-オレフィン類)およびそれらの組合せから選択される、請求項20に記載の組成物。

【請求項22】

安定剤をさらに含んでなる、請求項1～21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項23】

安定剤が、ジエン系化合物類、ホスフェート類、フェノール化合物類およびエポキシド類とそれらの混合物から選択される、請求項22に記載の組成物。

【請求項24】

追加の難燃剤をさらに含んでなる、請求項1～23のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項25】

追加の難燃剤が、トリ(2-クロロエチル)ホスフェート、(クロロプロピル)ホスフェート、トリ(2,3-ジブロモプロピル)ホスフェート、トリ(1,3-ジクロロプロピル)ホスフェート、リン酸二アンモニウム、様々なハロゲン化芳香族化合物、酸化アンチモン、アルミニウム三水和物、ポリ塩化ビニル、フッ素化ヨードカーボン、フッ素化ブロモカーボン、トリフルオロヨードメタン、ペルフルオロアルキルアミン類、ブロモフルオロアルキルアミン類およびそれらの混合物からなる群より選択される、請求項24に記載の組成物。

【請求項26】

冷媒組成物である、請求項1～25のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項27】

請求項1～26のいずれか一項に記載の組成物を含有している、熱伝達装置。

【請求項28】

熱伝達装置における、請求項1～26のいずれか一項に記載の組成物の使用。

【請求項29】

冷却装置である、請求項27または28に記載の熱伝達装置。

【請求項30】

自動車空調システム、住宅用空調システム、業務用空調システム、住宅用冷蔵庫システム、住宅用冷凍庫システム、業務用冷蔵庫システム、業務用冷凍庫システム、冷却機空調システム、冷却機冷却システムと、業務用または住宅用ヒートポンプシステムからなる群より選択される、請求項29に記載の熱伝達装置。

【請求項31】

圧縮器を内蔵している、請求項29または30に記載の熱伝達装置。

【請求項32】

請求項1～26のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる、発泡剤。

【請求項33】

発泡体を形成可能な1種以上の成分と、請求項1～26のいずれか一項に記載の組成物とを含んでなる発泡性組成物であって、発泡体を形成可能な1種以上の成分が、ポリウレタン類、熱可塑性ポリマーおよび樹脂、例えばポリスチレン、およびエポキシ樹脂、ならびにそれらの混合物から選択される、発泡性組成物。

【請求項34】

請求項33に記載の発泡性組成物から得られる、発泡体。

【請求項35】

請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる、請求項 3 4 に記載の発泡体。

【請求項 3 6】

スプレーされるべき物質と、請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる噴射剤とを含んでなる、スプレー用組成物。

【請求項 3 7】

請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を凝縮させ、その後、冷却されるべき物品の近くで該組成物を蒸発させることを含んでなる、物品を冷却する方法。

【請求項 3 8】

加熱されるべき物品の近くで請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を凝縮させ、その後、該組成物を蒸発させることを含んでなる、物品を加熱する方法。

【請求項 3 9】

バイオマスを請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる溶媒と接触させ、該溶媒から物質を分離することを含んでなる、バイオマスから物質を抽出する方法。

【請求項 4 0】

物品を請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる溶媒と接触させることを含んでなる、物品を清浄化する方法。

【請求項 4 1】

水溶液を請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる溶媒と接触させ、該溶媒から物質を分離することを含んでなる、水溶液から物質を抽出する方法。

【請求項 4 2】

粒状固体マトリックスを請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる溶媒と接触させ、該溶媒から物質を分離することを含んでなる、粒状固体マトリックスから物質を抽出する方法。

【請求項 4 3】

請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を含有している、機械的動力発生装置。

【請求項 4 4】

ランキンサイクルまたはその変法を用いて熱から動力を発生するように構成されている、請求項 4 3 に記載の機械的動力発生装置。

【請求項 4 5】

既存の熱伝達流体を除去して、請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物を導入する工程を含んでなる、熱伝達装置を改修する方法。

【請求項 4 6】

熱伝達装置が冷却装置である、請求項 4 5 に記載の方法。

【請求項 4 7】

熱伝達装置が空調システムである、請求項 4 6 に記載の方法。

【請求項 4 8】

既存の化合物または組成物を含んでなる製品の取扱いから生じる環境影響を減らす方法であって、少なくとも部分的に既存の化合物または組成物を請求項 1 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の組成物で置き換えることを含んでなる、方法。

【請求項 4 9】

製品が熱伝達装置、発泡剤、発泡性組成物、スプレー用組成物、溶媒または機械的動力発生装置から選択される、請求項 4 8 に記載の方法。

【請求項 5 0】

製品が熱伝達装置である、請求項 4 9 に記載の方法。

【請求項 5 1】

既存の化合物または組成物が熱伝達組成物である、請求項 4 8 ~ 5 0 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5 2】

熱伝達組成物が、R 22、R 410A、R 407A、R 407B、R 407

C、R 5 0 7 および R 4 0 4 a から選択される冷媒である、請求項5_1に記載の方法。

【請求項 5_3】

熱伝達組成物が、R 1 3 4 a、R 1 2 3 4 y f および R 1 5 2 a から選択される冷媒である、請求項5_1に記載の方法。